

「産学連携1号投資事業有限責任組合」の第1号案件の出資について

国立大学法人徳島大学、株式会社阿波銀行、株式会社地域経済活性化支援機構(REVIC)及び一般社団法人大学支援機構の協力により、2020年4月に設立した「産学連携1号投資事業有限責任組合」(以下、「本ファンド」という。)は、2020年6月30日付で、株式会社セツロテックに対する投資を実行しましたので、お知らせいたします。なお、本件は本ファンドの第1号投資案件となります。

セツロテックはゲノム編集技術を提供する徳島大学発のバイオベンチャーです。徳島大学で受精卵エレクトロポレーション法(GEEP法)による高効率ゲノム編集技術を開発した竹本龍也教授(代表取締役会長 CTO)と、培養細胞のゲノム編集技術を開発した沢津橋俊特任講師(取締役 CSO)らの技術を事業化することを目指し2017年2月に設立した会社です。

セツロテックでは、創業以来、ゲノム編集技術を活用した研究支援事業において、大学などの研究機関や製薬会社の研究開発部門に対しゲノム編集マウスやゲノム編集培養細胞を提供して参りました。また、ゲノム編集基盤技術を発展させ、畜産分野における新品種開発の事業も進展しており、社会実装に向け着実に前進しております。

【出資案件の概要】

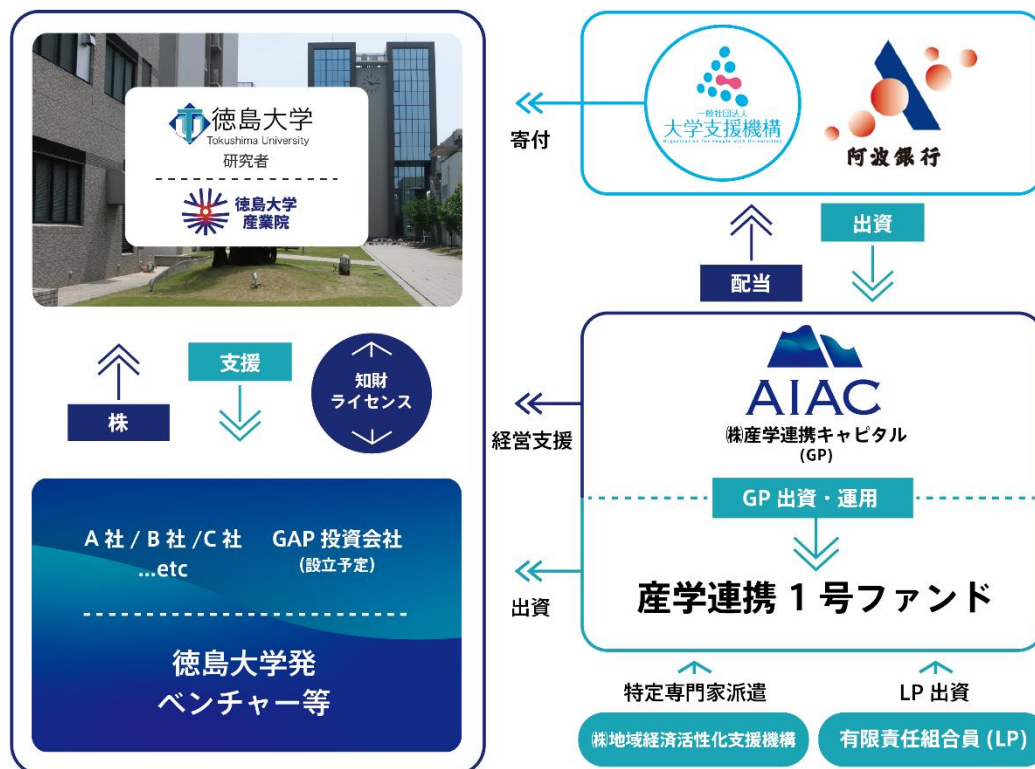
出資先名	株式会社セツロテック
代表者名	竹本 龍也、竹澤 慎一郎
所在地	徳島市蔵本町三丁目18番地の15 徳島大学藤井節郎記念医科学センター
設立年月日	2017年2月22日
事業内容	徳島大学発の受精卵ゲノム編集技術を活用した、創薬支援モデルマウス・ラット等の製造・販売ならび新品種の開発
投資決定要旨	・革新的ゲノム編集技術の活用による創薬支援モデル動物および畜産物の付加価値向上 ・地域雇用の拡大
URL	http://www.setsurotech.com/

【本ファンドについて】

徳島大学発ベンチャー企業の創業および経営支援を目的として、国立大学法人徳島大学、株

株式会社阿波銀行、株式会社地域経済活性化支援機構 (REVIC) および一般社団法人大学支援機構の協力により設立されたファンドです。ファンド運営の成功報酬が寄付金として大学に還元される仕組みは、民間ファンドとしては日本初となります。

本ファンドのスキーム図



【産学連携キャピタルについて】

株式会社阿波銀行及び一般社団法人大学支援機構の出資により、産学連携1号投資事業有限責任組合の運営母体として設立されました。徳島大学発ベンチャーや大学が保有する人的資源、研究シーズを発掘し、それらへのベンチャー投資と事業化へ向けたハンズオン支援を行うことで、徳島から新産業創出の実現を目指しています。

産学連携1号投資事業有限責任組合
無限責任組合員 株式会社産学連携キャピタル
徳島県徳島市南常三島2丁目1番地
URL <https://aiac.co.jp/>
代表取締役 田中 雅範

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社産学連携キャピタル
TEL: 088-678-2029